



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y' S MEN' S CLUB

The Y's Men's Club of Kanazawa

CHARTERED JULY 9, 1947

c/o KANAZAWA YMCA 44-1-201 SATOMI-CHO KANAZAWA 920-0998 JAPAN

国際会長主題	「より良い明日のために今日を築く」 “Building today for a better tomorrow”
アジア地域会長主題	「アクション！」 “Action!”
西日本区理事主題	「風となれ、ひかりとなれ」
中部部長主題	「輪を広げ 明るく楽しく 元気よく YMCAとともに」
金沢クラブ会長主題	「愛し合い 助け合い 楽しい仲間づくり！ ～YMCAとEMC活動の充実を～」

2020 2月間強調 TOF CS FF

今月の聖句 (伊藤仁信君)

だから、人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。これこそ律法と予言者である。
マタイによる福音書7章12節

2月強調月間

TOF・CS・FF 身近なボランティア、献金に協力をおねがいします。

渡壁十郎 地域奉仕・環境事業主任
(長浜クラブ)

2月例会プログラム

とき	2020年2月20日 (Thu.) 18:30~20:30
ところ	金沢ニューグランドホテル
会費	¥3,000 (会員は無料) ¥2,000円 (メネット)
司会	幸正一誠君
開会・点鐘	山内ミハル会長
主 題	司 会 者
ワイズソング	一 同
今月の聖句	伊藤仁信君
ハッピーバースデー	山内ミハル会長
ゲスト紹介	数澤淑子さん
食前の感謝	朝倉みゆきさん
スピーチ	数澤淑子さん
	“モンゴル探鳥記”
委員会報告	
ニコニコタイム	伊藤仁信君
YMCAの歌	一 同
閉会・点鐘	山内ミハル会長

1月クラブ活動状況

第1例会 (1月16日 Thu.)

メ ン	朝倉、伊藤、数澤、北、幸正、西、山内 吉川	(8名)
メキップ	なし	(0名)
出席率	100%	充足率 200%
メネット	朝倉、伊藤、数澤	(3名)
ゲスト	宮田君、北村君	(2名)

第2例会 (1月4日 Sat.)

メ ン	伊藤、数澤、山内	(3名)
メネット	数澤	(1名)

ニコニコタイム

	11,000円
クラブファンド	累計 239,000円

BFポイント

切手	1,790g	累計	4,000g
現金	8,000円	累計	8,000円

会 長	山内ミハル	書 記	西 信之
直前会長	幸正一誠	会 計	朝倉みゆき
副会長	数澤輝夫	メネット会長	数澤淑子
	伊藤仁信	メネット会計	伊藤悦子

第一例会	: 毎月第三木曜日 18:30~20:30
	金沢ニューグランドホテル Tel (076)233-1311
第二例会	: 毎月1日 18:30~20:00
	金沢ニューグランドホテル 2F (トレド)

「時よ」止まってくれ！

伊藤 仁信

令和2年も1ヶ月が過ぎましたが、この頃は特に生まれた月日が遠くなり、過ぎし日の思い出も半分は記憶の懐より薄れてくるようになりました。自然の摂理で仕方ないことですが、人の欲望は際限がなく自分がどんな者かにも弁えず勝手なことをして日ごと過ごしておる私です。そう言っても今年は、独断と偏見で決めた私の大事業の最終年度なので、老体に鞭打ちながら完成したいと新年にあたり自分の胸に誓いました。大上段に構えましたが中身は子供達の方が好きで、しかも上手だと思われるような工作です。大分前のブリテンで私の趣味の一つだと紹介したものです、そうです模型電車です（外見は蒸気機関車でも動力源は電気モーターなので電車と称しております）。

中学2～3年の頃、通学途中に模型店があり幼少の頃より好きだった乗り物の模型が展示されており、毎日のように立ち止まり暫し眺めておりました。その内だんだんと欲しくなり何とか手にしたいと思いましたが、完成車なんかは小遣いでは買えないので車輪一個、動力用モーター一個と言うように各部品を毎月の小遣で購入することにしました。模型電車では、当時蒸気機関車で走る列車が主流で花形でしたが、蒸気機関車の形が複雑で高価になるのでほとんどの模型に電気モーターが動力に使われておりました。しかし、時間とおカネがないので完成まで一年以上も掛かりました。

模型電車には多くの種類がありますが一番普及し安価なのがNゲージと言ひ、線路の幅が9ミリで既製品では一番小型のもので値段も比較的安く、自分で部品から組み立てれば時間は掛かるが完成品よりさらに个性的に仕上がります。部品そのものから造る人もおりますがマニア以上の方達です。私が一番苦労し困ったのは、うさぎ小屋の家でしたので平らな場所がある筈がなく、広げては解体して片づける連続でした。それでも今日まで続けられたのは、ほかに趣味があったからだと思ひます。趣味のうちで今日まで細々ながらも一番長く続けてこられたのがこの模型電車でした。その原点は終戦直後の蒸気機関車に牽引された列車が懐かしく、多感な青少年時代を過ごしたその時代、世相などが連鎖的に思い出されたからだと思ひます。

時が進み模型電車の集大成（大袈裟な…副社長の言）として展示する場所を確保し、2020年を目

標に一大路線網を展開して長年の夢を終結しようと思ひ数年前から準備し始めました。いろいろ工夫しましたが誰にも迷惑が掛からないところが一階の屋根裏でした。比較的高さもあり屋根裏大作戦と自称し、少しずつ改修してきましたが目標の半分近くまで進んでおります。施工は自称H. I 工務店の社長自ら施工し設計図などはどこにもなく社長の胸の中にあるようです。社長自身もどうなるかわからないし周りの人達も勿論わかる筈はありません。それで題名のように時が進まないで完成までせめても時が止まっていてくれればと叶わぬ願を叫んでおります。途中大分省略しましたが、これが大事業の内容です。詳細については完成した暁に、できれば皆さんへご報告したいと思ひております。それまで流行りの肺炎などにならぬように、お互い体に気を付けて過ごしたいと思ひます。

【1月例会の報告】

1月例会は西ワイズにスピーチをお願いしました。金沢近隣の貝塚・遺跡について興味深く伺うことができ、「西ワイズにガイドをお願いして、遺跡巡りをしたいね」という意見も出ています。



1月は山内の誕生月でもあり、この1年、山内が会長として職責を果たすことができているのは、皆様の協力のお陰と感謝して、山内は階下のトレドからケーキとコーヒーを出していただくよう依頼してあり、このサプライズに喜んでいただきました。

（山内の独り言：このケーキとコーヒー代を浮かすため、明日の夕食はお茶漬で我慢するか…）

（山内ミハル記）



縄文海進と御経塚貝塚・野々市・金沢縄文遺跡群 西 信之

金沢市西南部から野々市市にわたって、40以上の縄文遺跡が見つかっている。しかも、この中の主な遺跡は標高5~10mの線に沿って分布しており、御経塚貝塚のように貝塚が残っていることから縄文時代の海岸線に住居跡が作られたことがわかる。6000年位前には縄文海進と言われて海岸線が今の海岸よりかなり内陸側に迫っていた。これは、地球が温暖化して北陸の地が快適な住環境となっていたことを示している。野々市市を中心とする多数の縄文遺跡の存在は、この地域が手取川扇状帯大地であったことと深い関係がある。

現在の手取川は鶴来を下ると一気に折れ曲がり南進し扇状帯の南端を流れている。しかし、この川は昔から扇状帯の様々な筋を流れており、上流からの肥沃な土を下流に流していた。今の手取川の河口近くでは、名水と言われる多くの伏流水の水源があり、地元の人々の生活に使われている。縄文時代の集落はこのような伏流水の湧いている河口近くに営まれていたと思われる。中屋サワ遺跡や御経塚遺跡からは、この水を入れたと思われる美しい土瓶が発掘された。肥沃な土地は、豊かな栗の林や森を与え、この周りには様々な動物も暮らしていただろう。栗の木は巨木となり食料としてばかりでなく、その大木は住居建設にも用いられた。少し下ると海岸であり、鮭の遡上が見られ、海からの豊かな恵みが人々の生活を潤していた。食生活は豊かで、竹で編んだ器の表面を赤漆と黒漆を交互に何度も塗り重ねた容器は、汁物（貝汁？）の食器や、果物の容器として用いられたらうし、お湯を沸かし煮物を作る深鉢も皆で食を一緒にいただく楽しい時を与えたであろう。

人々は大きな栗の木の外側を加工した円弧状の厚い板を並べてウッドサークルを作り、その影の位置で時間を知ったのだろう。このウッドサークルは、先祖を祀る信仰とも係わっていたかも知れない。

人間は、生活が便利になり、医療の進歩が長寿を可能にしているからより幸せになったかという、これは大きな疑問である。縄文人は、陶芸や漆塗り等の工芸の技術を磨き、創造の喜びも知っていたし、狩猟や漁業による収穫の喜び、そして丸木舟による遠方との交流、大家族での共生や村全員のお祭りも、幸せをもたらしたであろう。一昔前の農村にこれらの習慣が残されている。

では、なぜ弥生人、渡来人に滅ぼされていったの

であろうか。この問題は現代社会に通じる大きな課題を提起している。

縄文人は、その生活が恵まれており、皆が等しく富を分けていたため困ることが無かった。しかし、弥生人によってもたらされた富の集積、富の独占と少量分配のシステムは、少人数の搾取層と大部分の非搾取層との分離をもたらした。日本では、その後の渡来人（その中には中央アジアの弓月国から応神天皇の時代に大量流入してきた7千戸を超えるユダヤ人もいる）の流入と彼らの朝廷内への組み込みによって巧みな支配体制が確立し、縄文人はその支配を受けることになる。このような支配層と被支配層の分離は、現代の米国に於ける巨大な歪みの出現を招いている。困ったことに、この体制を推進するトランプ大統領を支持しているのが問題の本質を理解しない中間層であり、無知蒙昧にイスラエルをそしてトランプを支持している福音派キリスト教徒である。

これまで天皇制の確立を学んできたが、これは村中を虐殺するか村の指導者を抹殺するという恐ろしい殺戮の結果である。橿原市の橿原考古学研究所内の博物館にはヤマト地方の殺戮の果てにうち捨てられた住居跡の中に多数の首のない人骨が住居と共に再現されている。大変気味が悪い。これが、天皇制の確立の裏にある現実である。これらの事実は、実は古事記や日本書紀に詳細に記されている。殺人や人をだます事を好まない縄文人は目的達成の為に何でも行う渡来人によって悲しい歴史を繰り返してきた。

御経塚遺跡から出土した土器の数々。



上・左：深鉢土器
上・右：深鉢土器
下：大型水瓶



上：皿

下：浅鉢型土器（口径 43.4 cm 巻貝で模様）



上：鉢型土器（口径 41.5 cm） 下：土鍋の蓋

3月の担当

聖 句	数澤 輝夫君
ブリテン	西 信之君
	朝倉 秀之君

【特別例会「新年会」】

数澤 輝夫

去る1月20日（月）金沢クラブの新年会は幸正一誠君のお世話で「居酒屋源左ヱ門」木倉町本店で開催されました。参加者は朝倉秀之・みゆき、伊藤仁信・悦子、数澤輝夫・淑子、北肇夫、幸正一誠、前田勝紀、吉川與志子、山内ミハルの諸氏11名でした。



二階の部屋に入ると朝倉関所があり、まず会費の納入です。飲み物を注文するときは、金沢ワイズ方式で必ず朝倉関所に申し出て自費精算することとしました。毎回会計さんは本当にご苦労様です。古民家風の温かい雰囲気の中、時間励行で開会、まず山内ミハル会長が「金沢クラブ2020年1月の特別新年会に多数のご参加を頂きましたことを感謝申し上げます。楽しい時間を過ごしたいと思います。」と挨拶され、続いて幸正一誠君の乾杯の音頭で始まりました。



始めに出て来た刺身の盛り合わせでは鯛かヒラメか？でさっそく魚クン論議が始まり、飲むほどに、酔うほどにみんな好きなことを言ってワイワイガヤガヤいつものワイズの楽しい飲み会となりました。

カラオケ好きの面々は演歌か、歌謡曲かで議論が沸騰、石原裕次郎は？美空ひばりは？石川さゆりは？細川たかしは？結局結論なしで、楽しい話題は次から次へ、美味しいご馳走も次から次と運ばれて、みなさん堪能されたようでした。



最後に伊藤仁信副会長の心温まる締めあいさつがあり中締め？となり、あとはどこへともなく消えた人もあったようでした。今年も金沢ワイズメンズクラブがみんな元気に和気藹々で活動できるよう祈りたいと思います。

【1月第二例会の報告】

日時：1月4日(土) 13:30~17:00

場所：山内宅

出席者：伊藤、数澤、ノ、メ、山内

議題1. 1月特別例会(新年会)について

1/23or24に行う

担当は幸正ワイズ

2. ワイズポテト購入実績について

会計の朝倉ワイズ欠席のため報告は後日に行う

3. IBC 交流について

仙台広瀬川クラブとの交流会を

4/3~4/4 4/4~4/5 4/18~4/19

のいずれかで交渉してみる

担当 伊藤ワイズ

4. 会員増強について

都合で退会した会員、スピーカーをお願いした方にあたってみる

5. 2月例会はピンクシャツデーとする。

(山内ミハル 記)

~~~~~お知らせ~~~~~

☆下記の献金を集めます

今期最後の献金です、ご協力をおねがいします。

YES 500円+FF 800円 =1,300円

今までに資料の見間違いのため900円多く集めましたので今月は1,300-900=400で400円集めます。

☆2月例会はピンクシャツ着用

2月例会はYMCAの活動に協同して、ピンクシャツを着用してください。

~~~~~YMCAのお知らせ~~~~~

☆41回ユニセフ街頭募金の感謝状

昨年の暮れ、12月21日(土)に金沢YMCAでは、金沢クラブのご賛同を得て「第41回ユニセフハンド・イン・ハンド募金」を実施しました。

つきましては、日本ユニセフ(国連児童基金)協会から感謝状授与がありましたのでご報告いたします。金沢クラブの皆さんのご協力をいただきありがとうございました。



なお、「YMCA NEWS 金沢青年 No21 (2020年1月号)」には、その記事が掲載されていますのでご参照ください。(北 肇夫 記)

Happy Birthday

該当者はありません

☆ピンクシャツデーの由来

「ピンクシャツデー」は、2007年、カナダの学生2人から始まったいじめ反対運動です。

ある日、ピンクのポロシャツを着て登校した少年が「ホモセクシャルだ」といじめられました。それを聞いた先輩2人が50枚のピンクシャツを購入、インターネットで「明日、一緒に学校でピンクのシャツを着よう」と呼びかけました。翌日学校では呼びかけに賛同した数百名の生徒がピンクのシャツや小物を身に付けて登校。学校中がピンク色に染まり、いじめが自然となくなったそうです。

このエピソードはSNS等で世界中に広まり、今では70カ国以上でいじめに反対する活動が行われています。カナダで最初にこの出来事があった日が、2月の最終水曜日でした。それ以降、2月の最終水曜日に私たちもいじめについて考え、いじめられている人と連帯する思いを表す1日としています。



× ネット報



初めての家庭集会

1964年3月、1年間の婚約期間を経て、金沢教会上河原雄吉牧師の司式のもと、両家の親族はじめ教会や職場の方々、教え子たちの参加を得て、結婚式を挙げることができました。なかなか見つけられなかった新居も、夫・健司が独身時代よく通っていた居酒屋のママのお世話で結婚式一か月前にやっとなりました。北陸鉄道石川線野町駅近くの線路わきにある6畳二間の小さなアパートでした。1両編成の小さな電車が通るたび、ガラス窓がビリビリゆれ、警笛が鳴ると、部屋の中での話し声も聞き辛くなるのでした。当時、三種の神器と言われた冷蔵庫、洗濯機、テレビはなく、小さな電気炊飯器だけが唯一の電化製品でした。

独身時代の私は朝食抜き、昼食は職場近くの店からうどんやラーメン、時にはカレーライスなどをとって食べ、夕食は何とか自分で調理するという生活でしたが、結婚と同時に、朝早く起床、二人分のお弁当を作り、急いで朝食をすませ、夫はJRで公立高校へ、私は市電に乗って私立高校へ出勤。日曜日には夫は教会学校の教師をさせて頂いていたので、8時には教会へ、私は家事をすませてから市電に乗って教会へ……という生活でした。今考えれば、本当に不自由で貧しく、忙しい毎日でしたが、当時はとても充実していて、幸福感を十分に味わっていました。

5月半ばを過ぎて、体に異常を感じ、病院を訪ね、小さな命が宿ったことを知らされました。ご存じのようにこの年は、初めての東京オリンピックが計画されていました。オリンピックを身近に感じることができるのは一生に一度しかないと思った私たちは、是非テレビで見たいと思い、夏のボーナスでテレビ

(白黒)を買うことにしました。テレビが届いて間もなく、夏休みの終わり頃だったと思いますが、夫から「我が家で家庭集会をするようにと、上河原先生に言われた」と報告を受けました。日時は10月のある日の夜(何日だったか忘れました)と決められ「お茶の用意だけしておけばいいそうさ」ということでした。四日市の母教会では家庭集会はなく、金沢に来てからの3年間もその経験がなかったので、何をしていたかわからず、人々に「来てください」と声を掛けることもしませんでした。そのような事をしなくても、皆さんは来てくださるものと思っていましたので、とにかく当日は夕方急いで学校から帰り、夕食をすませてお湯を沸かし、座布団や湯飲み茶わんも数名分しかないことを心配しながら皆さんが来てくださるのを待つことにしました。時間少し前に上河原先生が来てくださいました。先生は「今、オリンピックの女子バレーの決勝戦をやっているから、テレビで応援しながら、みんなを待ちましょう」と言われ、私たちも「なぜ、こんな日に家庭集会を？」と聞いていましたから、楽しくテレビを見ていました。ところが……試合が終わり、あの感動的な金メダル獲得という最後を見終わっても、だれも来なかったのです。

上河原先生は、苦笑いしながら、「じゃあ、一言お祈りして終わらしましょう」と言って祈られ、「山健さんもひと言…」と言われ、夫の祈りをもって家庭集会は終わりました。

忘れることのできない苦い？思い出の家庭集会と二度と経験できないと思っていたオリンピックを、再び日本に迎えることができる今年、ここまで生かされてきたことに感慨を覚えている今日この頃です。

(山内ミハル 記)